

一般質問



障がい者の自立のために 将来を見据えての取り組みを

光風会 恵利 いつ 議員

議員 障がい者と言つても、「身体・知的・精神」と障害の状態、生活環境などは異なっています。個人の能力を活かした精いいっぱいの自立のための支援・援助の在り方について将来を見据えて取り組むべき。村の自立支援の現状を尋ねます。

福祉部長 「まつぼつくり」や「たんぽぽ」、「幸の実園」などの民間福祉施設では就労移行支援や就労継続支援事業を、「糸」内の障害者センターでは、自立訓練事業のほか、就労が難しい重度の方に日常活動の場として生

活介護事業をしています。村独自では「なごみ」内で精神障がい者の居場所づくりや、デイケアの実施、喫茶「響」で就労支援をしています。

議員 3障害といつてもそれぞれに特性があり、取り組みの歴史や支援体制の充実、社会的認知度などに違いがあるのが現実。特に精神障がい者への村内の取り組みは遅れていると感じます。グループホームやケアホームについてでは障害の種類にかかわらず村内設置を希望する声がありますが、これらの福祉サー



なごみ内喫茶コーナー「響」

活介護事業をしています。村独自では「なごみ」内で精神障がい者の居場所づくりや、デイケアの実施、喫茶「響」で就労支援をしています。

議員 バスの充実について考えを伺います。

福祉部長 精神障がい者の自立に向けた支援は「なごみ」での事業のみです。作業所やグループホームなどの利用は近隣市の事業所に頼っているのが現状であります。村としては、事業所の進出を願つてお

ります。南部工業団地には鋳物工場等があり近隣住民の苦情が多く、この方も業者に直接申し入れたり県や村に訴えるなどしてや村に訴えるなどしてきたそうです。こうして企業の参入時、住民は賛否の意見を述べる機会が多く困り事が生じてから行動を起こすしかありません。「こんなことをしないでむまちづくりがなぜできないのか」と怒つておられます。南部団地は民間の開発で19社が入居、自治組織はなく、一方、北部工業団



平原南部工業団地の自治組織づくり、 村の積極的な対応を

日本共産党 大名美恵子 議員

議員 「南部工業団地にも自治会を」との声が寄せられました。南部団地には鋳物工場等があり近隣住民の苦情が多く、この方も業者に直接申し入れたり県や村に訴えるなどしてや村に訴えるなどしてきたそうです。こうして企業の参入時、住民は賛否の意見を述べる機会が多く困り事が生じてから行動を起こすしかありません。「こんなことをしないでむまちづくりがなぜできないのか」と怒つておられます。南部団地は民間の開発で19社が入居、自治組織はなく、一方、北部工業団

地は以前の村開発公社が開き、進出企業は自治会加入が前提です。南部団地の敷地内管理や周辺住民との協議の場としてなど自治組織の必要性は重大です。開発した事業主のお話では、「当初村の指導があつたがつくらないままになってしまった。必要性は感じている。入居企業と相談し検討します」とのことでした。村は自治組織の必要性を認識しつつ指導があいまいだつたのではないでしようか。今、積極的にかかわるべきと考えますが、見解を伺いま



平原南部工業団地

理事(兼)企画政策部長 当時の村の考え方とは異なっていますが、文書など残つておらず分からぬのですが、良好な環境づくりや周辺地域との調和を考慮すれば自治組織づくりは望ましいと考えます。動き出した開発業者や川根区自治会とも協力し、村の役割には積極的に対応してまいりたいと考えます。